ミステリ珍本全集04『死の快走船』を読むための大阪圭吉作品書誌（2014年7月5日更新）

© 小林文庫

月刊雑誌は月号

（昭和）	掲載年月	作品名	掲載誌・紙	巻-号	確認	内容など	出来事	著書への収録 戦前著書 A	B	C	D	E	F	G	戦後著書 ①	②	③	④	⑤	⑥	珍本全集
明治45年							明治45年(1912年)3月20日誕生														
昭和6年							3月日本大学商業学校(夜間)卒業														
（19歳）							*9月満洲事変(柳条湖事件)発生*														
昭和7年		人喰ひ風呂		未掲載		「日の出」懸賞応募	*3月満洲国建国*														
（20歳）	s 7.10	デパートの絞刑吏	新青年	13-12		《青山喬介》	（甲賀三郎の推薦により発表）	A							①	②		④			
	s 7.12	カンカン虫殺人事件	新青年	13-14		《青山喬介》	4月～「新作探偵小説全集」刊行									②					
昭和8年	s 8.07	白鮫号の殺人事件	新青年	14- 8		《青山喬介》	*1月ヒットラー首相に、3月日本国際連盟脱退*									②					
（21歳）							7月「完全犯罪」小栗虫太郎														
昭和9年	s 9.01	気狂ひ機関車	新青年	15- 1		《青山喬介》	前年5月「ぷろふいる」創刊	A							①	②		④			
（22歳）	s 9.04	花束の虫	ぷろふいる	2- 4		《大月対次弁護士》	1月～「黒蜥蜴」江戸川乱歩	A								②		④			
	s 9.07	なかうど名探偵	新青年	15- 8		《大手鴨十》	*3月溥儀　満州国皇帝に就任*	A													1
	s 9.08	塑像	ぷろふいる	2- 8		コント	4月～「黒死館殺人事件」小栗虫太郎														6
	s 9.09	とむらひ機関車	ぷろふいる	2- 9				A							①	②	③	④			
	s 9.12	人喰ひ風呂	新青年	15-14			11月「網膜脈視症」木々高太郎	A													1
	s 9.12	我もし自殺者なりせば	ぷろふいる	2-12		エッセイ										②					
昭和10年	s10.03	雪解	ぷろふいる	3- 3			1月『ドグラマグラ』夢野久作	A								②		④			
（23歳）	s10.07	石塀幽霊	新青年	16- 8		《青山喬介》	2月～「鬼火」正史　一部削除掲載	A								②		④			
	s10.10	小栗さんの印象など	探偵文学	1- 7		エッセイ	3月雅子夫人と結婚											④			
	s10.12	燈台鬼	新青年	16-14		《東屋三郎》	9月『日本探偵小説傑作集』乱歩編	A							①	②		④			
	s10.12	ハガキ回答	ぷろふいる	3-12		ハガキ回答	9月～「世界探偵傑作叢書」など														
昭和11年	s11.01	闖入者	ぷろふいる	4- 1		《大月対次弁護士》	この前後から「探偵小説第二の隆盛期」						F		①	②		④			
（24歳）	s11.01	ハガキ回答	探偵文学	2- 1		ハガキ回答	1月～「怪人二十面相」乱歩														
	s11.01	探偵小説突撃隊	月刊探偵	2- 1		エッセイ										②					
	s11.01	犯罪時代と探偵小説	新愛知	1/27&1/28		エッセイ	*2.26事件*														
	s11.04	幻影城の番人	ぷろふいる	4- 4		エッセイ	3月長女誕生									②					
	s11.04	お玉杓子の話	探偵文学	2- 4		エッセイ	3月『船富家の惨劇』蒼井雄									②					
	s11.04	鱒を釣る探偵	名古屋釣新聞	掲載日不詳	未見	エッセイ															
	s11.05	案山子探偵	月刊探偵	2- 4		《大手鴨十》															6
	s11.06.05	**『死の快走船』**	**ぷろふいる社**				江戸川乱歩「序」掲載	A													
	s11.06	死の快走船	『死の快走船』			《東屋三郎》 「白鮫号の殺人事件」を改稿	6月3日『死の快走船』出版記念会	A							①						1
	s11.06	巻末に	『死の快走船』			あとがき		A													1
	s11.07	三狂人	新青年	17- 8		連続短編1	7月連続短編掲載開始								①	②	③	④			
	s11.07	人間燈台	逓信協会雑誌	335号									F			②					
	s11.08	白妖	新青年	17- 9		連続短編2 《大月対次弁護士》	8月新城町書記補勤務								①	②		④			
	s11.09	あやつり裁判	新青年	17-11		連続短編3 《青山喬介》					D				①	②		④			
	s11.09	頭のスイッチ	ぷろふいる	4- 9		エッセイ										②					
	s11.10	銀座幽霊	新青年	17-12		連続短編4	10月「探偵春秋」創刊・専門誌4誌に								①	②		④			
	s11.10	弓の先生	探偵文学	2-10		エッセイ	10月～「真珠郎」横溝正史									②					
	s11.11	動かぬ鯨群	新青年	17-13		連続短編5 《東屋三郎》	*11月日独防共協定成立*								①	②					
	s11.12	寒の夜晴れ	新青年	17-14		連続短編6	12月連続短編掲載終了								①	②	③	④			
昭和12年	s12.01	連続短編回顧	ぷろふいる	5- 1		エッセイ	1月「人生の阿呆」直木賞受賞									②					
（25歳）	s12.01	諸家の感想	探偵春秋	2- 1		封書回答	1月～渡辺啓助　連続短編「聖悪魔」～														
	s12.02	海外探偵小説十傑	新青年　新春増刊号	18- 3		アンケート											③				
	s12.04	恋慕時計	新青年	18- 5		⇒昇降時計	4月「ぷろふいる」終刊				D										3

	s12.05	坑鬼	改造	19- 5									①	②		④			
	s12.06	記念号読後感	シュピオ	3- 5		ハガキ回答	6月長男誕生												
	s12.06	水族館異変	モダン日本	8- 7			*7月日中戦争始まる(盧溝橋事件)*											⑥	6
	s12.06	二度と読まない小説	新青年　初夏特別増刊号	18- 8		アンケート	10月～「魔都」久生十蘭							②					
	s12.07	停車場狂ひ	旅行サロン	1- 3		エッセイ	*12月南京占領*							②					
昭和13年	s13.01	唄はぬ時計	新青年	19- 1			この頃から探偵小説の執筆が窮屈に					F				④			4
(26歳)	s13.01	好意ある督戦隊	シュピオ	4- 1		エッセイ	1月～「人形佐七捕物帳」横溝正史							②					
	s13.01	昭和十二年度の気に入った探偵小説二三とその感想	シュピオ	4- 1		ハガキ回答	*4月国家総動員法公布*												
	s13.02	情死	近代生活	?	未見	小品	4月「シュピオ」終刊・専門誌全滅												
	s13.02	好きな外国作家と好きな作中人物	新青年　新春増刊	19- 3		アンケート	*6月勤労動員始まる*												
	s13.04	大百貨注文者	新青年　臨時増刊	19- 6		《大月対次弁護士》						F		②					
	s13.07	トンナイチヤ湖畔の若者	新青年　特別増刊	19-11		⇒トンナイ湖畔の若者	*7月第12回東京オリンピック中止決定*			C									2
	s13.08	試験問題名士・メンタルテスト	新青年	19-12		アンケート	*9月従軍作家中国視察へ*												
	s13.09	扮装盗人	映画ファン	3- 9															6
	s13.11	証拠物件	エス・エス	3-12		探偵コント	11月豊橋職業紹介所へ転職												6
昭和14年	s14.01	三の字旅行会	新青年	20- 1			1月～「顎十郎捕物帳」久生十蘭				D				③				3
(27歳)	s14.01	求婚広告	週刊朝日　新年特別号	35- 2		⇒謹太郎氏の結婚				C								⑥	2
	s14.04	沙漠の伏魔殿	奇譚	1- 4			3月乱歩「芋虫」の全編削除を命ぜられる												
	s14.05	愛情盗難	週刊朝日	全4回 (35-22、23、24、25)		⇒香水夫人					D								3
	s14.06	正札騒動	新青年	20- 8			5月～「有尾人」小栗虫太郎				D								3
	s14.07	人間氷山	奇譚	1- 7		(岬潮太郎　名義)	*7月国民徴用令公布*												
	s14.08	花嫁の病気	新青年	20-10								F							4
	s14.09	隆鼻術	名作	1- 1															
	s14.09	尋人をする女	にっぽん	1- 4		⇒懸賞尋ね人	*9月第二次世界大戦*					F							4
	s14.09	尋人をする女	戦線文庫	11号		(上と同一作品・同時掲載)	*(独ポーランド侵攻、英仏　対独宣戦布告)*					*							*
	s14.10	告知板の女	新青年	20-13		⇒告知板の謎					D							⑥	3
	s14.11	恋のお手柄	奇譚	1-11		⇒手紙を喰うポスト							G						5
昭和15年	s15.01	秘密	新青年	21- 1		諧虐コント	この頃、乱歩自著「陰獣」「蟲」などを絶版に												6
(28歳)	s15.01	新婚寝台車	週刊朝日　新年特別号	37- 1		⇒寝台車事件							G						5
	s15.02	身代り花嫁	ユーモアクラブ	4- 2		⇒慰問文夫人	*2月11日紀元2600年*			C									2
	s15.03	愛情試験	にっぽん	2-3															
	s15.03	花嫁と仮髪	週刊朝日	全4回 (37-10、11、12、13)															
	s15.04	愛情代理人	新青年	21- 5		⇒特別代理人	4月～「新宝島」江戸川乱歩				D								3
	s15.04	盗まぬ掏摸	キング	16- 4		《塚本刑事》						F							4
	s15.05	香水紳士	少女の友	33- 5						C								⑥	2
	s15.06	待呆け嬢	新青年	21- 8		課題コント競演	*6月独パリ侵攻*												6
	s15.06	刺青のある男	キング	16- 7		《塚本刑事》	*6月日タイ友好条約締結*				D								3
	s15.06	人外神秘境	奇譚	2- 6															
	s15.07	怪盗奇談	新青年	21- 9		諧虐コント													6
	s15.07	恐しき時計店	キング	16- 8									G						5
	s15.07	寝言をいふ女	ユーモアクラブ	4- 7							D								3
	s15.09	愛の先駆車	キング	16-10			*9月日独伊三国同盟締結*												
	s15.10	東京第五部隊	講談倶楽部	30-10		《横川禎介》	*10月大政翼賛会結成*						G				⑤		
	s15.11	金髪美容師	キング	16-12		《横川禎介》						F	G				⑤		
	s15.11	衣か食か住か	家	1- 4		アンケート	*12月内務省図書課を検閲課に改組*												
	s15.12	正宗のゐる工場	にっぽん		未見		*この頃から検閲大幅強化*			C									2
昭和16年	s16.01	赤いスケート服の娘	新青年	22- 1		《横川禎介》	*この頃、乱歩の旧著ほぼ絶版に*						G				⑤		
(29歳)	s16.01	仮面の親日	冨士	14- 1		《横川禎介》						F	G				⑤		
	s16.04	九百九十九人針	新青年	22- 4			*4月日ソ中立条約締結*			C									2
	s16.04	疑問のS	冨士	14- 4		《横川禎介》							G				⑤		

	s16.04	翼賛タクシー	週刊朝日　春季特別号	39-15						C										2
	s16.07	街の潜水夫	富士	14- 7		《横川禎介》	*6月独ソ連攻撃開始*						G					⑤		
	s16.07	屋形船異変	にっぽん		未見	弓太郎捕物帖1														
	s16.08	プラプイ君の大経験	新青年	22- 8			8月くろがね会入会			C										2
	s16.08	紅毛特急車	キング	17 -8		《横川禎介》							G					⑤		
	s16.08	夏芝居四谷怪談	にっぽん		未見	弓太郎捕物帖2														
	s16.09	約束	戦線文庫	4-9	未見					C										2
	s16.09	五人の手古舞娘	にっぽん		未見	弓太郎捕物帖3														
	s16.10	空中の散歩者	富士	14-10		《横川禎介》							G				④	⑤		
	s16.10	千社札奇聞	にっぽん		未見	弓太郎捕物帖4														
	s16.11	貧乏籤	戦線文庫	4-11	未見															
	s16.11	花盗人	にっぽん		未見	弓太郎捕物帖5	11月小栗虫太郎　陸軍報道班員													
	s16.11	大いなる沈黙	戦線文庫	?	未見															
	s16.12	ポッケット婦人日記	ユーモアクラブ		未見	⇒ポケット日記	*12月8日　日本軍マレー半島上陸*					F								4
	s16.12	丸を書く女	にっぽん		未見	弓太郎捕物帖6	*〃　真珠湾空襲・米に宣戦布告*													
	s16.12	会員通信	くろがね會報	1- 2		ハガキ・アンケート	*太平洋戦争始まる*													
	s16.12.15	**『海底諜報局』**	**熊谷書房**						B											
	s16.12	海底諜報局	『海底諜報局』	書き下ろし		《横川禎介》			B									⑤		
	s16.12	作者の言葉	『海底諜報局』			まえがき			B									⑤		
昭和17年	s17.01	ちくてん奇談	にっぽん	4-1		弓太郎捕物帖7	1月～「知恵の一太郎」乱歩													
(30歳)	s17.03	自若夫人	新青年	23- 3		⇒ほがらか夫人	（小松龍太郎名義で発表）			C										2
	s17.03	ハワイ軍港掃海奇談	戦線文庫	5- 3？	未見		*2月日本シンガポール占領*													
	s17.03	ジャングルの兵変	にっぽん	4- 3																
	s17.03	作者の言葉	豊橋同盟新聞	03/05		エッセイ　連載予告														
	s17.03	ここに家郷あり	豊橋同盟新聞	3/31～8/15（118回）							E									
	s17.04	マニラの混血娘	にっぽん		未見															
	s17.05	印度洋司令の帽子	ユーモアクラブ	6- 5																
	s17.05	子は国の宝	講談雑誌	28- 5						C										2
	s17.05	南の処女林	にっぽん	4-5			*5月日本文学報国会創立*													
	s17.06	スエズ湾の軍艦旗	戦線文庫	5-6			創立と同時に日本文学報国会入会													
	s17.06	動く珊瑚礁	にっぽん		未見		*6月ミッドウエー海戦*													
	s17.07	青春停車場[大阪圭吉]	講談雑誌	28- 7			*（戦局逆転、日本不利に転換）*													
	s17.07	東印度の娘	にっぽん		未見		7月上京、日本文学報国会勤務													
	s17.07	間諜満州にあり	ますらを	129号前後?	未見	《横川禎介》							G					⑤		
	s17.08	アラスカ狐[大阪圭吉]	新青年	23- 8																
	s17.08	五つの船渠	にっぽん		未見															
	s17.08	椰子の實[大坂圭吉]	くろがね	1-6		エッセイ														
	s17.09	氷河婆さん[大阪圭吉]	にっぽん	4- 9																
	s17.10	ソロモン海の羽搏き[大阪圭吉]	戦線文庫	5- 10			11月「オルドスの鷹」渡辺啓助													
	s17.12	百万人の正宗	読切講談		未見	《横川禎介》							G					⑤		
	s17.12	誓ひの魚雷[大坂圭吉]	新国民	5-12																
昭和18年	**s18.01.15**	**『ほがらか夫人』**[大坂圭吉]	**大都書房**				1月文学報国会会計課長			C										
(31歳)	s18.02	夜明けの甲板[大阪圭吉]	新青年	24- 2			2月次男誕生													
	s18.03	男子出生[大坂圭吉]	くろがね	2- 3		エッセイ	*2月ガダルカナル島撤退開始*													
	s18.03.15	**『香水夫人』**[大阪圭吉]	**大東亞出版社**				*（日本敗戦の方向へ）*				D									
	s18.03	怒れる山（日立鉱山錬成行）[大阪圭吉]	日本学芸新聞	150号(3/15)		紀行	3月「海峡天地会」小栗虫太郎													
	s18.04	ガダル島総攻撃[大坂圭吉]	戦線文庫	6- 4			*4月山本五十六戦死*													
	s18.04.05	**『ここに家郷あり』**[大坂圭吉]	**新興亞社**				*5月アッツ島玉砕*				E									
	s18.04.15	**『人間灯台』**[大阪圭吉]	**大東亞出版社**									F								
	s18.04.25	**『仮面の親日』**[大坂圭吉]	**大道書房**										G							
	s18.06	人情馬車[大坂圭吉]	富士	19- 6																
	s18.06	村でたった一枚の結婚服	満洲良男	140号前後?	未見		*6月勤労動員命令*													
	s18.07	主なき貯金	（大政翼賛会）	発表媒体不明	未見	貯金コント	*7月国民徴用令改正*													

	s18.08	明るい街[大坂圭吉]	講談倶楽部	33- 8		小説千字文	8月3日応召　満洲へ出征										
	s18.08	面舵一ぱい海軍航海学校(黒潮に誓う海軍航海学校)[大坂圭吉]	戦線文庫	6- 8		訪問記											
	s18.08	門出の靴[大坂圭吉]	新天地	14- 8?	未見												
	s18.08	挺身[大坂圭吉]	『辻小説集』八紘社杉山書店	書き下ろし		文学報国会建艦献金											
	s18.09	山は微笑む[大坂圭吉]	読切講談	6- 9	未見		*9月女子勤労挺身隊を動員*										
	s18.09	潜水艦と地底戦士ー増産旗あがる細倉鑛山ー[大坂圭吉]	戦線文庫	6-9		訪問記	11月～「偉大なる夢」江戸川乱歩										
昭和19年	s19.10	海軍諸學校めぐり　海を征する少年兵[大阪圭吉]	戦線文庫	7-10ノ2　緊急増刊		檄文	*11月東京初空襲*										
(32歳)							*12月日本軍マニラ放棄*										
昭和20年							2月14日甲賀三郎　旅行中に死去										
(33歳)							4月25日井上良夫死去										
							7月2日フィリピン・ルソン島で戦病死										
							享年33(実際の病死は9月20日前後)										
							8月15日　日本無条件降伏(敗戦)										
昭和21年																	
昭和22年	s22.06	幽霊妻[大阪圭吉]	新探偵小説	1- 2									①	②		④	

備考
背景色が「黄色」の作品は、エッセイ
太字の作品は著書
掲載年月は原則として「月号」
作品名は原則として初出誌・紙における作品名
内容など欄に「⇒香水夫人」の様に⇒の後に記述したものは、珍本全集『死の快走船』における改題

昭和17年7月以降に発表の作品には、「大阪」「大坂」の筆名の別を付記した。未記入の作品は筆名不詳
確認欄＝「未見」は初出誌を未確認または未見のもの
(「未見」が黒字のものは、著書収録等で読むことは出来るもの)
※ 未見の作品、掲載誌、所蔵機関などについて、情報をご存知の方は、是非ご教示ください

「著書への収録」欄の内容は次の通り

◇ 戦前著書

A 『死の快走船』	ぷろふいる社	昭和11年 6月 5日
B 『海底諜報局』	熊谷書房	昭和16年12月15日
C 『ほがらか夫人』	大都書房	昭和18年 1月15日
D 『香水夫人』	大東亞出版社	康徳10年 3月15日(昭和18年)
E 『ここに家郷あり』	新興亞社	昭和18年 4月 5日
F 『人間燈台』	大東亞出版社	康徳10年 4月15日(昭和18年)
G 『假面の親日』	大道書房	昭和18年 4月25日
ー 『誓ひの魚雷』 (未見のため、リストアップしていません)		

◇ 戦後著書

① 『とむらい機関車』(国書刊行会)	1992年5月25日
② 『とむらい機関車』『銀座幽霊』(創元推理文庫)	2001年10月26日
③ 『日本探偵小説全集12』(創元推理文庫)	1989年2月3日
④ 上記以外のアンソロジー(1950年以降に出版のもの)に収録	
⑤ 『大阪圭吉探偵小説傑作選』(論創社・論創ミステリ叢書45)	2010年4月30日
⑥ 『大阪圭吉作品集成』(盛林堂ミステリアス文庫)	2013年4月12日

◇ 珍本全集
戎光祥出版・ミステリ珍本全集04『死の快走船』に収録の作品
数字の「1～6」は、『死の快走船』の「PART1～PART6」に対応する

© 小林文庫

この書誌(文書)は、以下の条件の下に複製・再配布は自由です
是非、ご活用下さい

① この書誌は、小林文庫の著作物です。著作権は小林文庫が所有します
② 著作者への連絡なしで複製・配布を行って構いませんが、
著作権者の表示を行って下さい
③ 自由な複製・配布は非営利目的に限定します。営利目的、および
金銭の授受を伴う行為との複製・配布は、著作権者の許諾が必要です
④ 複製・配布を行うにあたり、いかなる改変も禁止します
内容に間違い、不適切な表現等が有った場合は、著作権者まで
ご連絡ください。適切に改定します
⑤ PDFファイルの解析、EXCEL、テキスト等への変換は禁止します

CC BY-NC-ND

参考文献

大阪圭吉の書誌については
・大阪(坂)圭吉「自筆作品目録」
「三河にも推理作家がいた　―大坂圭吉の《復活》」杉浦俊彦
(「学友」岡崎高校　昭和48年3月発行に初出)
出来事については
・『昭和・平成　現代史年表』 神田文人・編著　小学館
・『日本ミステリーの100年』 山前譲　光文社
を参考にさせていただきました。

【追加】 大阪圭吉の未発表作品について

大阪圭吉には数々の未発表作が残されている可能性が有ります。
未発表作に関する情報源には、次の3つが有ります。

① 大阪(坂)圭吉「自筆作品目録」(杉浦俊彦・編) に記述されている作品

執筆時期	作品名	掲載予定誌・紙	補足
昭和13年	首狩祭り		中編
13年	残ってゐる人たち		80枚
15年	共同結婚服	キング	
15年	浜田弥兵衛		57枚
16年	日の丸燈台	キング	17枚
16年	日本の空	キング	35枚
16年	姿なき侵略者	キング	32枚
16年	公衆電話の女	キング	10枚
16年	異教詮議	にっぽん	25枚　香月弓太郎捕物帖第八話
17年	太平洋の妻	キング	33枚
17年	遺族になった男	新青年	31枚
17年	マレーの虎	キング	39枚 「生誕百年大阪圭吉の世界展」に生原稿展示
17年	偵察機還る	キング	28枚
18年	子宝弾	講談倶楽部	16枚
18年	最後の客	富士	20枚

「マレーの虎」は2012年新城市図書館で開催された「生誕百年大阪圭吉の世界展」に生原稿が展示されました。
自筆原稿は他にも残っている可能性が有ります。
なお、「自筆作品目録」(原本)も「大阪圭吉の世界展」に展示されました。

② 「新探偵小説」に「幽霊妻」が掲載された際の編集者あとがき

「それで蒼井氏の穴には、比島で戦病死を傳へられて、久しい大阪圭吉の、未発表稿の内から一篇を選んでみた。
なつかしい圭吉調を偲んでいただくに充分だと思ふ。」
他にも未発表稿が有った事が伺えます。
なお、「幽霊妻」は「自筆作品目録」には記載されていません。

③ 鮎川哲也が「人間・大阪圭吉」(「小説推理」1973.02)で紹介した「未発表の本格長編」

それによると、出征前の昭和17、18年ころ、本格長編小説を書き上げ甲賀三郎に託した、と伝えられています。
この「本格長編」も「自筆作品目録」には記載されていません。